

2023年3月期 第2四半期 決算補足資料

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. 決算概観（連結） | P.2 |
| 2. 第2四半期 業績のポイント | P.3 |
| 3. 第2四半期 業績の状況 | P.4 |
| 4. 第2四半期 業績と予想（連結） | P.5 |
| 5. 主要製品の状況 | P.6 |
| 6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結） | P.7 |
| 7. 開発品一覧 | P.8～9 |
| 【参考資料】 | |
| 8. 損益計算書の概要（連結） | P.10～11 |
| 9. 貸借対照表の概要（連結） | P.12 |
| 10. 主な業績項目の推移（連結） | P.13 |
| 11. 杏林製薬資料 | P.14～17 |

2022年11月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社



■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2023年3月期 第2四半期 決算概観（連結）



(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	対前年 (%)	23年3月期 (予想)	対前年 (%)
売上高	48,299	47,735	49,102	49,093	-0.0	112,000	+6.1
営業利益	783	1,502	-68	777	-	5,500	+9.8
経常利益	1,076	1,813	285	1,171	+309.8	6,000	+7.7
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	834	2,118	121	1,242	+921.1	4,500	+14.4

23年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

【売上高】 新薬群は伸長したものの薬価改定（杏林製薬8%台）の影響等により、新医薬品等（国内）は前年同期を下回る実績で推移しました。他方、後発医薬品の売り上げは増加し、全体の売上高は490億93百万円と横ばいとなりました。

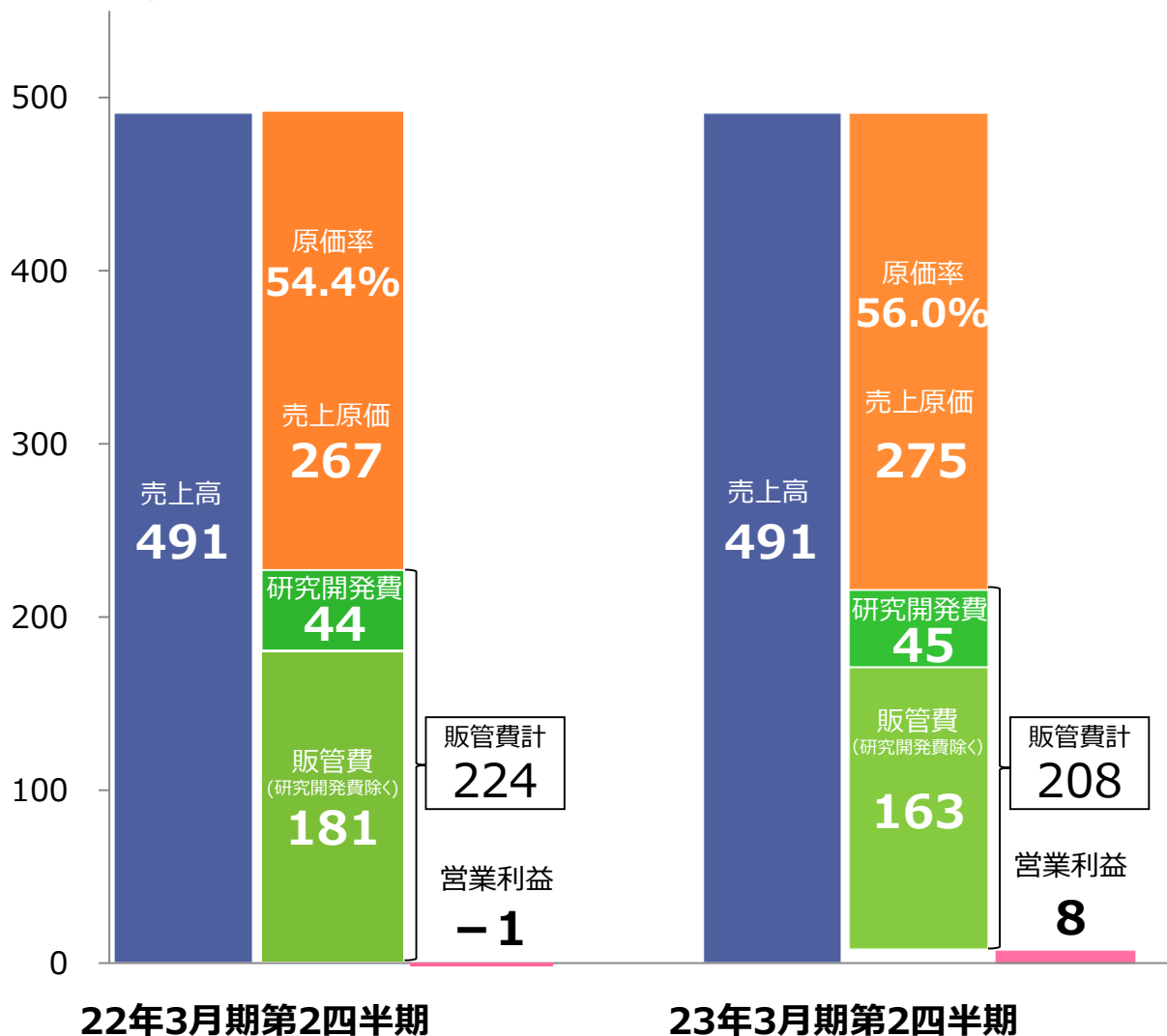
【利益】 薬価改定等の影響により売上原価率が上昇し、売上総利益は216億11百万円と前年同期に対して7億58百万円減少しましたが、前年に計上した導入品に関わる契約一時金の反動減等により販売費及び一般管理費が16億04百万円減少（内、研究開発費は1億34百万円増加）した結果、営業利益は7億77百万円と前年同期に対して8億46百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、西日本配送センターにおける火災に関わる特別利益12億74百万円を計上する一方、杏林製薬（株）の子会社であるActivX社の解散費用6億63百万円を特別損失として計上した結果、12億42百万円となりました。

23年3月期 連結業績（予想）

現時点におきまして、2022年5月11日に公表した2023年3月期（通期）連結業績予想は変更しておりません。また2022年5月11日に公表した配当予想（年間52円/株）につきましても変更はございません。

2023年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



売上高は横ばい

- 新医薬品等（国内）の売上減少
 - 新薬群（ベオーバ、デザレックス等）は増加
 - 長期収載品、他社への導出品売上は減少
- 後発医薬品の売上増加

売上原価率が上昇（+1.6ポイント）

【低下要因】

- 新薬群の売上増加

【上昇要因】

- 薬価改定の影響（杏林製薬8%台）
- 後発医薬品の売上増加

売上総利益は減少（-8億円）

販管費は減少（-16億円）

- 研究開発費は増加
- 販管費（研究開発費除く）は減少
 - 主に一般経費の減少（特許等使用料等）
 - 前年計上した導入品に関わる導入一時金の反動減及びロイヤリティ支払いの減少

営業利益は増加（+9億円）

2023年3月期 第2四半期 業績の状況



(単位：億円)	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	対前年 (額)
売上高	491	491	0
新医薬品等(国内)	333	327	-6
新医薬品(海外)	3	3	0
後発医薬品	155	161	+6
営業利益	-1	8	+9
経常利益	3	12	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1	12	+11

		(対前年)	(対予想)
■ 売上高	491億円	(0)	(-5)
● 新医薬品等(国内)	327億円	(-6)	(-7)
	22.3 (2Q)	23.3 (2Q)	
・フルティフォーム	63 ⇒	57	(-6) (+1)
・デザレックス	26 ⇒	30	(+4) (+1)
・ベオーバ	43 ⇒	55	(+12) (-9)
・ラスビック	8 ⇒	10	(+2) (-3)
・リフヌア	— ⇒	1	(+1) (-1)
・ペンタサ	71 ⇒	65	(-6) (+2)
・キプレス	36 ⇒	27	(-9) (-1)
・ムコダイン	16 ⇒	15	(-1) (+1)
・ナゾネックス	7 ⇒	6	(-1) (+1)
・ウリトス	7 ⇒	4	(-3) (+1)
● 新医薬品(海外)	3億円	(0)	(0)
● 後発医薬品	161億円	(+6)	(+3)
	キプレスのオーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」等の売上増加 6月発売の追補収載品等の売上寄与		
■ 営業利益	8億円	(+9)	(+1)
● 原価率：56.0% (前年同期：54.4%)	【低下要因】新薬群の売上増加（ベオーバ、デザレックス等） 【上昇要因】薬価改定、後発医薬品の売上増加		
● 研究開発費：45億円 (前年同期：44億円)			
● 販管費(研究開発費除く)：163億円 (前年同期：181億円)	主に一般経費の減少（特許等使用料等） ・前年計上した導入品に関わる契約一時金の反動減及びロイヤリティ支払いの減少		
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	12億円	(+11)	(+5)
	特別利益：西日本配送センターの火災に関わる保険差益8億81百万円、 受取損害賠償金3億93百万円 特別損失：ActivX社の解散に関わる減損損失1億01百万円、 関係会社整理損失引当金繰入額5億61百万円		

2023年3月期 第2四半期 業績と予想（連結）



(単位：百万円)	第2四半期				通期			
	22年3月期 (実績)	23年3月期 (実績)	対前年 (額)	対前年 (%)	23年3月期 (予想)	対予想 (額)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (予想)
売上高	49,102	49,093	-9	-0.0	49,600	-507	105,534	112,000
新医薬品等（国内）	33,279	32,651	-627	-1.9	33,400	-749	69,725	74,500
新医薬品（海外）	342	312	-29	-8.6	300	+12	1,033	700
後発医薬品	15,481	16,128	+647	+4.2	15,800	+328	34,775	36,700
営業利益	-68	777	+846	-	700	+77	5,007	5,500
経常利益	285	1,171	+885	+309.8	1,000	+171	5,569	6,000
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	121	1,242	+1,120	+921.1	700	+542	3,932	4,500

2023年3月期 第2四半期 主要製品の状況



(単位：億円)		第2四半期					通期			
		21年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (実績)	対前年 (額)	対前年 (%)	23年3月期 (予想)	対予想 (額)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	64	63	57	-6	-8.9	56	+1	126	120
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	18	26	30	+4	+14.9	29	+1	71	80
	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	38	43	55	+12	+26.6	64	-9	86	141
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	2	8	10	+2	+17.1	13	-3	18	30
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	-	-	1	+1	-	2	-1	-	5
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	64	71	65	-6	-8.0	63	+2	140	125
	キプレス (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	35	36	27	-9	-23.9	28	-1	84	68
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	14	16	15	-1	-5.1	14	+1	35	29
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	6	7	6	-1	-9.8	5	+1	24	18
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	16	7	4	-3	-44.5	3	+1	13	7
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	11	10	10	0	+0.0	10	0	21	20
ルビスタ (環境除菌・洗浄剤)	10	10	11	+1	+2.7	10	+1	21	20	
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	45	51	54	+3	+5.4	46	+8	122	107
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	9	10	11	+1	+7.0	10	+1	36	36
	イミダフェナシン錠「杏林」 (過活動膀胱治療剤)	3	4	4	0	-7.1	2	+2	8	5

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 (連結)

(単位：百万円)	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	対前年 (%)	22年3月期	23年3月期 (予想)
研究開発費	5,191	5,200	4,364	4,498	+3.1	8,897	10,900
設備投資	1,367	1,858	751	3,882	+416.9	3,624	5,000
減価償却費	1,566	1,716	1,831	1,907	+4.2	3,714	4,000

設備投資の詳細 (実績／予想)

(単位：億円)	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	22年3月期	23年3月期 (予想)
工場設備	3	36	26	39
管理・販売設備	1	1	4	6
研究用設備	3	2	6	5

開発品一覧① (2022年11月9日現在)

Ph3 ~ 発売

※前回 (2022年8月2日) からの変更点

開発段階		製品名/ 開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph3※ (22年9月)	Ph3※ (aTyr : 米国)	KRP-R120	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	aTyr (エイタイヤー)	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体 (NRP2) に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	

POCプロジェクト (Ph1 ~ Ph2)

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph1※ (22年8月)	—	KRP-114VP	過活動膀胱	メルク社	膀胱平滑筋に存在するβ3アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱を弛緩させることで蓄尿機能を亢進し、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善する	「ベオーバ」の小児への適応拡大
—	Ph1 (21年4月: 英国)	KRP-A218	重症化リスクを有する ライノウイルス感染症	自社	宿主分子を標的とし、体内におけるウイルス増殖を抑制する抗ウイルス薬	

開発品一覧② (2022年11月9日現在)

導入品の状況

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph2 (19年12月) あすか製薬	—	AKP-009	前立腺肥大症	あすか製薬	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結 (20年9月) 高用量での追加Ph1試験 (終了)

導出品の状況

開発段階	製品名/ 開発コード	導出先	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
Ph1	KRP-203	Priothera (プリオセラ)	—	自社	S1P受容体アゴニスト	本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産及び原薬等を譲渡 (20年9月)

損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期		23年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	49,102	100.0	49,093	100.0	-0.0	-9
新医薬品等 (国内)	33,279	67.8	32,651	66.5	-1.9	-627
新医薬品 (海外)	342	0.7	312	0.6	-8.6	-29
後発医薬品	15,481	31.5	16,128	32.9	+4.2	+647

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社5社： 杏林製薬(株)
Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

(対前年)

■売上高 **49,093百万円** (-9)
●新医薬品等 (国内) **32,651百万円** (-627)

(億円)

	22.3 (2Q)	⇒	23.3 (2Q)	
・フルティフォーム	63	⇒	57	(-6)
・デザレックス	26	⇒	30	(+4)
・ベオーバ	43	⇒	55	(+12)
・ラスピック	8	⇒	10	(+2)
・リフヌア	—	⇒	1	(+1)
・ペンタサ	71	⇒	65	(-6)
・キプレス	36	⇒	27	(-9)
・ムコダイン	16	⇒	15	(-1)
・ナゾネックス	7	⇒	6	(-1)
・ウリトス	7	⇒	4	(-3)

●新医薬品 (海外) **312百万円** (-29)

●後発医薬品 **16,128百万円** (+647)

- ・キプレスのオーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」等の売上増加
- ・6月発売の追補収載品等の売上寄与

損益計算書の概要 (連結) - ②

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期		23年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	49,102	100.0	49,093	100.0	-0.0	-9
売上原価	26,732	54.4	27,481	56.0	+2.8	+749
売上総利益	22,369	45.6	21,611	44.0	-3.4	-758
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	22,438 (4,364)	45.7 (8.9)	20,833 (4,498)	42.4 (9.2)	-7.2 (+3.1)	-1,604 (+134)
営業利益	-68	-0.1	777	1.6	-	+846
営業外収益	402	0.8	447	0.9	+11.2	+45
営業外費用	48	0.1	53	0.1	+12.1	+5
経常利益	285	0.6	1,171	2.4	+309.8	+885
特別利益	0	0.0	1,319	2.7	+100.0	+1,319
特別損失	16	0.0	678	1.4	+4012.0	+662
税金等調整前 当期純利益	269	0.5	1,812	3.7	+572.9	+1,543
法人税・住民税 及び事業税	136	0.3	493	1.0	+260.7	+356
法人税等調整額	10	0.0	76	0.2	-	+65
親会社株主に帰属 する四半期純利益	121	0.2	1,242	2.5	+921.1	+1,120

<当期のポイント>

(対前年)

◆ **売上原価率：56.0%** **(+1.6ポイント)**

【低下要因】

・新薬群の売上増加

【上昇要因】

・薬価改定の影響

・後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：9.2%** **(+0.3ポイント)**

・44億円→45億円

◆ **販管費率（研究開発費除く）：33.3%**
(-3.5ポイント)

・163億円（前年同期：181億円）

主に一般経費の減少（特許等使用料等）

- 前年計上した導入品に関わる契約一時金の反動減及び
ロイヤリティ支払いの減少

■ **営業利益** **777百万円** **(+846百万円)**

■ **親会社株主に帰属
する四半期純利益** **1,242百万円** **(+1,120百万円)**

・特別利益：西日本配送センターの火災に関わる保険差益及び
受取損害賠償金・特別損失：ActivX社の解散に関わる減損損失及び
関係会社整理損失引当金繰入額

■ **配当（中間）** **20円00銭**

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	22年3月期末		22年9月期末		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	116,376	67.7	116,243	66.3	-133
現金及び預金	26,994		28,051		
受取手形及び売掛金	41,676		34,811		
有価証券	500	—	0	—	—
棚卸資産	42,217		49,316		
その他	4,989		4,064		
固定資産	55,547	32.3	59,217	33.7	+3,670
有形固定資産	24,334		26,636		
無形固定資産	3,289	—	4,235	—	—
投資その他	27,923		28,345		
資産合計	171,924	100.0	175,461	100.0	+3,537
流動負債	32,182	18.7	35,740	20.4	+3,558
支払手形及び買掛金	10,896		12,772		
その他流動負債	21,286	—	22,968	—	—
固定負債	15,234	8.9	14,984	8.5	-249
負債合計	47,416	27.6	50,725	28.9	+3,309
株主資本	120,491	70.1	119,877	68.3	-613
その他の包括利益累計額	4,016	2.3	4,857	2.8	+841
その他有価証券評価差額金	6,268		6,693		
為替換算調整勘定	110	—	343	—	—
退職給付に係る調整累計額	-2,362		-2,179		
純資産合計	124,507	72.4	124,735	71.1	+228
負債及び純資産合計	171,924	100.0	175,461	100.0	+3,537

<当期のポイント> (対前期末)

■流動資産：133百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+1,057百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-6,865百万円)
- ・有価証券の減少 (-500百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+7,099百万円)
- ・その他の減少 (-924百万円)

■固定資産：3,670百万円増

- ・有形固定資産の増加 (+2,302百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+946百万円)
- ・投資その他の増加 (+421百万円)

■流動負債：3,558百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+1,876百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+1,682百万円)

■固定負債：249百万円減

主な業績項目の推移 (連結)

(単位：百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	22年3月期	23年3月期
	第2四半期	第2四半期	第2四半期	22年3月期	23年3月期 (予想)
売上高	47,735	49,102	49,093	105,534	112,000
(海外売上)	(527)	(342)	(312)	(1,033)	(700)
売上原価	22,913	26,732	27,481	56,093	—
(売上原価率)	(48.0%)	(54.4%)	(56.0%)	(53.2%)	—
販売費及び一般管理費	23,320	22,438	20,833	44,433	—
(販管费率)	(48.9%)	(45.7%)	(42.4%)	(42.1%)	—
うち研究開発費	5,200	4,364	4,498	8,897	10,900
(研究開発费率)	(10.9%)	(8.9%)	(9.2%)	(8.4%)	(9.7%)
営業利益	1,502	-68	777	5,007	5,500
(営業利益率)	(3.1%)	(-0.1%)	(1.6%)	(4.7%)	(4.9%)
経常利益	1,813	285	1,171	5,569	6,000
(経常利益率)	(3.8%)	(0.6%)	(2.4%)	(5.3%)	(5.4%)
四半期(当期)純利益	2,118	121	1,242	3,932	4,500
(四半期(当期)純利益率)	(4.4%)	(0.2%)	(2.5%)	(3.7%)	(4.0%)
一株当たり利益	36.98円	2.12円	21.69円	68.62円	78.53円
資本金	700	700	700	700	—
総資産	169,789	164,408	175,461	171,924	—
純資産	123,400	121,927	124,735	124,507	—
一株当たり純資産	2,153.51円	2,127.81円	2,176.74円	2,172.83円	—
自己資本利益率	1.7%	0.1%	1.0%	3.2%	—
自己資本比率	72.7%	74.2%	71.1%	72.4%	—
人員	2,282人	2,252人	2,215人	2,222人	—
設備投資	1,858	751	3,882	3,624	5,000
減価償却費	1,716	1,831	1,907	3,714	4,000

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期		23年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	42,961	100.0	42,210	100.0	-1.7	-750
新医薬品等（国内）	32,537	75.7	31,772	75.3	-2.4	-765
新医薬品（海外）	251	0.6	195	0.5	-22.1	-55
後発医薬品	10,172	23.7	10,242	24.3	+0.7	+69

<当期のポイント>

(対前年)

■売上高 **42,210百万円** (-750)

●新医薬品等（国内） **31,772百万円** (-765)

(億円)	22.3 (2Q)	⇒	23.3 (2Q)	
・フルティフォーム	63	⇒	57	(-6)
・デザレックス	26	⇒	30	(+4)
・ベオーバ	43	⇒	55	(+12)
・ラスピック	8	⇒	10	(+2)
・リフヌア	—	⇒	1	(+1)
・ペンタサ	71	⇒	65	(-6)
・キプレス	36	⇒	27	(-9)
・ムコダイン	16	⇒	15	(-1)
・ナゾネックス	7	⇒	6	(-1)
・ウリトス	7	⇒	4	(-3)

●新医薬品（海外） **195百万円** (-55)

●後発医薬品 **10,242百万円** (+69)

・キプレスのオーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」等の売上増加

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	22年3月期 第2四半期		23年3月期 第2四半期			
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前年 (%)	対前年 (額)
売上高	42,961	100.0	42,210	100.0	-1.7	-750
売上原価	23,277	54.2	22,770	53.9	-2.2	-507
売上総利益	19,683	45.8	19,440	46.1	-1.2	-243
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	20,509 (3,782)	47.7 (8.8)	18,905 (3,712)	44.8 (8.8)	-7.8 (-1.9)	-1,603 (-70)
営業利益	-825	-1.9	534	1.3	-	+1,360
営業外収益	585	1.4	665	1.6	+13.6	+79
営業外費用	29	0.1	29	0.1	-0.9	-0
経常利益	-269	-0.6	1,170	2.8	-	+1,440
特別利益	0	0.0	1,061	2.5	100.0	+1,061
特別損失	9	0.0	3	0.0	-61.8	-5
税金等調整前 当期純利益	-278	-0.6	2,228	5.3	-	+2,507
法人税・住民税 及び事業税	-28	-0.1	543	1.3	-	+571
法人税等調整額	-	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-249	-0.6	1,685	4.0	-	+1,935

<当期のポイント> (対前年)

◆売上原価率：53.9% (-0.3ポイント)

【低下要因】
・新薬群の売上増加

【上昇要因】
・薬価改定の影響
・他社への導出製品の売上減少

◆研究開発費率：8.8% (-0.0ポイント)

・38億円→37億円

◆販管費率(研究開発費除く)：36.0% (-2.9ポイント)

・152億円(前年同期：167億円)
主に一般経費の減少(特許等使用料の減少)
- 前年計上した導入品に関わる契約一時金の反動減及び
ロイヤリティ支払いの減少

■営業利益 534百万円 (+1,360百万円)

■四半期純利益 1,685百万円 (+1,935百万円)

・特別利益：西日本配送センターの火災に関わる保険差益及び
受取損害賠償金

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	22年3月期末		22年9月期末		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期末増減
流動資産	121,796	76.1	121,246	75.4	-549
現金及び預金	17,535		20,214		
売掛金及び契約資産	36,690		30,101		
有価証券	500	—	—	—	—
棚卸資産	32,366		37,833		
その他	34,704		33,097		
固定資産	38,183	23.9	39,545	24.6	+1,362
有形固定資産	7,029		6,779		
無形固定資産	2,534	—	3,505	—	—
投資その他	28,620		29,260		
資産合計	159,980	100.0	160,792	100.0	+812
流動負債	28,543	17.8	28,790	17.9	+246
買掛金	11,746		12,335		
その他流動負債	16,796	—	16,454	—	—
固定負債	12,204	7.6	12,365	7.7	+161
負債合計	40,747	25.5	41,155	25.6	+408
株主資本	113,052	70.7	113,030	70.3	-22
評価・換算差額等	6,179	3.9	6,606	4.1	+426
純資産合計	119,232	74.5	119,636	74.4	+404
負債及び純資産合計	159,980	100.0	160,792	100.0	+812

<当期のポイント>

(対前期末)

■ 流動資産：549百万円減

- ・ 現金及び預金の増加 (+2,679百万円)
- ・ 売掛金及び契約資産の減少 (-6,588百万円)
- ・ 有価証券の減少 (-500百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 (+5,467百万円)
- ・ その他の減少 (-1,607百万円)

■ 固定資産：1,362百万円増

- ・ 有形固定資産の減少 (-249百万円)
- ・ 無形固定資産の増加 (+971百万円)
- ・ 投資その他の増加 (+640百万円)

■ 流動負債：246百万円増

- ・ 買掛金の増加 (+589百万円)
- ・ その他の減少 (-342百万円)

■ 固定負債：161百万円増

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	22年3期	23年3月期 (予想)
売上高	41,116	42,961	42,210	92,010	95,900
(海外売上)	(433)	(251)	(195)	(834)	(400)
売上原価	19,773	23,277	22,770	48,736	—
(売上原価率)	(48.1%)	(54.2%)	(53.9%)	(53.0%)	—
販売費及び一般管理費	21,021	20,509	18,905	40,413	—
(販管費率)	(51.1%)	(47.7%)	(44.8%)	(43.9%)	—
うち研究開発費	4,687	3,782	3,712	7,695	9,600
(研究開発費率)	(11.4%)	(8.8%)	(8.8%)	(8.4%)	(10.0%)
営業利益	321	-825	534	2,859	4,400
(営業利益率)	(0.8%)	(-1.9%)	(1.3%)	(3.1%)	(4.6%)
経常利益	936	-269	1,170	3,781	5,200
(経常利益率)	(2.3%)	(-0.6%)	(2.8%)	(4.1%)	(5.4%)
四半期(当期)純利益	1,400	-249	1,685	2,620	4,000
(四半期(当期)純利益率)	(3.4%)	(-0.6%)	(4.0%)	(2.8%)	(4.2%)
一株当たり利益	18.86円	-3.37円	22.70円	35.28円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	160,574	155,314	160,792	159,980	—
純資産	119,891	117,205	119,636	119,232	—
一株当たり純資産	1,614.30円	1,578.14円	1,610.88円	1,605.43円	—
自己資本利益率	1.2%	-0.2%	1.4%	2.2%	—
自己資本比率	74.7%	75.5%	74.4%	74.5%	—
人員	1,504人	1,472人	1,421人	1,441人	—
設備投資	207	342	162	627	400
減価償却費	684	722	795	1,461	1,600